

(案の5)

令和7年度  
第7回理事会議案書  
(書面決議)

第1号議案

令和8年度事業計画及び収支予算の件

令和8年2月9日(月)

公益財団法人明日佳

# 第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算の件

## 令和8年度事業計画について

本法人の令和8年度の事業計画案を以下の通り提案いたします。精査のうえ承認を求めます。

### I 基本方針

本法人は、2016年平成28年7月25日、一般財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会として設立し、定款に基づいて、公益目的各事業等を着実に行ってまいりました。この実績等により、2018年平成30年7月26日、北海道知事の法人第1280号指令で公益財団法人として認可されました。

令和8年度の本法人の事業は、定款第3条の目的に基づく定款第4条（1）特別支援学校のフットサル等スポーツ活動の普及（2）特別支援学校のフットサル等競技会等の開催・助成（3）特別支援学校のフットサル等スポーツ活動の調査・研究（4）児童養護施設に処遇されている小学生の学習支援を行うNPO法人等への助成の各事業を、当面、以下により事業推進します。

#### 1 定款第4条(1)のフットサル等スポーツ活動の普及

- ・フットサル用具の寄贈及びフットサル指導員の派遣
- ・フットサル指導員の派遣

#### 2 定款第4条(2)のフットサル等競技会の開催・助成

- ・2026 第10回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会  
兼第5回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会の開催

#### 3 定款第4条(3)のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

- ・スポーツ活動に係る実践研究校の指定及び成果報告書の発行

## II 事業計画

### 1 本法人が事業対象とする北海道の特別支援教育

#### (1) 北海道の特別支援学校73校

- 視覚障がい
  - 北海道札幌視覚支援学校
  - 北海道函館盲学校
  - 北海道旭川盲学校
  - 北海道帯広盲学校
- 聴覚障がい
  - 北海道高等聾学校
  - 北海道札幌聾学校
  - 北海道函館聾学校
  - 北海道旭川聾学校
  - 北海道室蘭聾学校
  - 北海道帯広聾学校
- 知的障がい
  - 北海道雨竜高等養護学校
  - 北海道札幌高等養護学校
  - 北海道札幌稲穂高等支援学校
  - 北海道札幌あいの里高等支援学校
  - 北海道千歳高等支援学校
  - 北海道白樺高等養護学校
  - 北海道新篠津高等養護学校
  - 北海道小樽高等支援学校
  - 北海道伊達高等養護学校
  - 北海道今金高等養護学校
  - 北海道函館五稜郭支援学校
  - 北海道函館高等支援学校
  - 北海道北斗高等支援学校
  - 北海道旭川高等支援学校
  - 北海道美深高等養護学校
  - 北海道美深高等養護学校あいべつ校
  - 北海道小平高等養護学校
  - 北海道紋別高等養護学校
  - 北海道新得高等支援学校
  - 北海道中札内高等養護学校
  - 北海道中札内高等養護学校幕別分校
  - 北海道中標津支援学校
  - 市立札幌豊明高等支援学校
  - 北海道夕張高等養護学校
  - 市立札幌みなみの杜高等支援学校
  - 日本体育大学附属高等支援学校
  - 北海道美唄養護学校
  - 北海道南幌養護学校
  - 北海道札幌養護学校
  - 北海道札幌養護学校 共栄分校
  - 北海道札幌養護学校白樺高等学院
  - 北海道星置養護学校
  - 北海道星置養護学校ほしみ高等学園
  - 北海道札幌伏見支援学校
  - 北海道札幌伏見支援学校 もなみ学園分校
  - 北海道余市養護学校
  - 北海道余市養護学校 しりべし学園分校
  - 北海道室蘭養護学校
  - 北海道苫小牧支援学校
  - 北海道平取養護学校
  - 北海道平取養護学校 静内ベテカリの園分校
  - 北海道七飯養護学校
  - 北海道七飯養護学校 おしま学園分校
  - 北海道鷹栖養護学校
  - 北海道東川養護学校
  - 北海道稚内養護学校
  - 北海道北見支援学校
  - 北海道紋別養護学校
  - 北海道紋別養護学校 ひまわり学園分校
  - 北海道帯広養護学校
  - 北海道釧路養護学校
  - 国立大学法人北海道教育大学附属特別支援学校
- 肢体不自由
  - 北海道岩見沢高等養護学校
  - 北海道真駒内養護学校
  - 北海道拓北養護学校
  - 北海道函館養護学校
  - 北海道旭川養護学校
  - 北海道網走養護学校
  - 北海道白糠養護学校
  - 札幌市立豊成養護学校
  - 札幌市立北翔養護学校
- 病弱
  - 北海道手稲養護学校
  - 北海道手稲養護学校三角山分校
  - 市立札幌山の手支援学校
- 聴覚・知的
  - 北海道釧路鶴野支援学校
- 肢体不自由・病弱
  - 北海道手稲養護学校

#### (2) 本法人が対象とする北海道の特別支援学級

本道の特別支援学級は、小学校に15,016学級、中学校に6,445学級、計21,461学級に在籍する児童生徒は、27,462名となっている。

## 2 定款第4条1「フットサル等スポーツ活動の普及」

予算 60万円

### 2-1「スポーツ用具の寄贈」

予算 40万円

令和7年度実績は、6メニュー方式として、45校、1,286,438円を寄贈したが、寄贈先各校校長からの当法人理事長あての令状等は、10校程度となっていることから、今年度から「小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」と連動したフットサル用具に絞って各校に寄贈することといたしたい。

令和8年度は、Aセット(フットサルボール3ヶで1セット12,180円)、Bセット(ゲームベストセットで1セット14,476円)で、1校1.3万円程度30校、約40万円を想定している。

### 寄贈用具メニュー

2026年度 スポーツ活動用品寄贈

	メーカー	商品	数量	販売価格(税込)	金額(税込)	備考	値引き率
Aセット	モルテン	フットサルボール4号球	3	3,520	10,560	商品本体価格(税抜):4,000円	20.0%
		F9Y2521:WR					
		送料等	1	1,620	1,620		
		合計(税込)			12,180		

★WRの在庫がない場合



WR



WG

2026年度 スポーツ活動用品寄贈

	メーカー	商品	数量	販売価格(税込)	金額(税込)	備考	値引き率
Bセット	モルテン	ゲームベストSET	1	13,376	13,376	商品本体価格(税抜):15,200円	20.0%
		GS0113※1					
		送料等	1	1,100	1,100		
		合計(税込)			14,476		

※1:3色の中から1つお選び下さい  
ご希望の色がない場合は在庫のある色となります



KL



KO



KG

### 3-2 「フットサル指導員の派遣」

予算 20万円

令和7年度のフットサル指導員の派遣事業は、一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブの協力により、札幌市内の特別支援学級20校で実施することができた。

令和8年度においても、派遣希望先の日程調整等を札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会に依頼して、一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブに事業委託をして1校当たり1万円、20校、20万の予算で連携実施したい。

#### 令和8年度 ちゃれんじ・ふっと・ぼーる実施要項

#### 令和8年度 ちゃれんじ・ふっと・ぼーる 実施要項

1. 主旨 札幌市特別支援学級を対象にボールを使った“遊び”やゲームを取り入れ、多くの子どもたちに笑顔でフットサルを楽しむ機会をつくり、子どもたちの心身の健やかな育成に寄与する。
2. 主催 公益財団法人明日佳
3. 主管 一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブ
4. 後援 札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
5. 実施期間 令和8年9月～令和9年3月末頃まで
6. 時間 1単位時間(小中学校共に45分間程度)
7. 対象 札幌市小・中学校20校の特別支援学級
8. 場所 各学校体育館等施設
9. 実施内容 エスポラーダ北海道は、児童生徒が笑顔になるよう指導します。
  - 1) 準備運動
  - 2) 動き作りの運動
  - 3) ボールを使った遊び方
  - 4) フットサルゲームの実施 等※屋内、屋外を問わずあまり広くないスペースでも実施できます。  
※暑い時、寒い時など子どもたちの健康を十分に考慮します。
10. 用具 1) ボール等は、エスポラーダ北海道が持参します。  
2) ビブスは、各学校で用意してください。
11. 費用 無料。派遣費用は、公益財団法人明日佳が負担します。
12. 申込先 所定の申込書でエスポラーダ北海道にメールでお申し込みください。  
エスポラーダ北海道 広報担当: 武田  
メールアドレス: info@espolada.com
13. 申込期日 本実施概要到着日から5月30日(金)まで
14. その他 ・実施日程及び実施学級数は、申込を受けて「札幌特協」とエスポラーダ北海道とで協議します。  
・活動後は、各学校担任等の方は、A4版1枚程度の「札幌市特別支援学級『ちゃれんじ・ふっと・ぼーる』活動記録」を、エスポラーダ北海道にメールで送付します。  
なお、この活動記録は、(公財)明日佳及びエスポラーダ北海道の公式ホームページ等で開示しますので、写真は、個人情報に留意し、編集等してください。

#### 4 定款第4条2「フットサル等競技会の開催・助成」

予算 260万円

##### (1) 概要

この事業は、2025第9回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会兼第4回全国特別支援学校フットサル大会北海道地区大会として開催した。2025年度大会は、道立野幌総合運動公園総合体育館に併設する合宿所を使用できたので、宿泊費が大幅に割愛することができた。

しかし、令和8年度、2026年第10回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会開催においては、暑熱による不慮の事故を防ぐために、扇風機等を体育館内に設備した北翔大学浅井記念体育館を借用することとして計画している。

このため、例年使用している野幌総合運動公園併設の合宿所は使用できないことから、現在、(公財)北海道サッカー協会所有合宿施設「ゆめきたれ」及び札幌市駒岡保養センターの宿泊を予定しているが、50人分50万円(1名1泊1万円)が増加する見込みである。

参加校は、障がいの重たい義務併置校の参加増を見込んで、25校を予定している。

令和6年度及び7年度実績と令和8年度予算の対比

区分	令和6年度実績 20校参加	令和7年度実績 20校参加	令和8年度予算 22校参加予定
各学校の移動助成費・宿泊	1,103,962円	1,120,160円	1,700,000円
運営役員、審判等の謝金	767,759円	366,000円	400,000円
食糧費(昼食等)	200,000円	278,310円	300,000円
消耗品・雑費	148,023円	176,056円	200,000円
総計	2,219,744円	1,940,526円	2,600,000円

##### (2) 大麻駅及び宿泊所から北翔大学浅井記念体育館までの移動

大会開催会場の北翔大学浅井記念体育館までは、大麻駅からの徒歩移動となるが、札幌市雁来にある(公財)北海道サッカー協会所有合宿施設「ゆめきたれ」からは江別市教育委員会手配のバスによる移動、また札幌市駒岡保養センターからの移動は同センター所有のバス移動を予定している。

## 5 定款第4条3「フットサル等スポーツ活動の調査・研究」

予算 100万円

令和7年度は、9校に対して1校10万円、特別研究助成の1団体(オセアルフォーラム札幌実行委員会の特別支援学校フットサルに係る特別研究)500万円、計590万円の研究助成を行った。この研究助成の研究紀要は、300部印刷で306,000円、合計6,220,000円であった。

令和8年度は、助成対象校を今年並みの9校として、1校10万円の実践研究を継続するとともに、印刷・製本は、50部印刷として、執筆者に各2部、国立特別支援教育総合研究所並びに道教委及び道立図書館、道立特別支援教育センター、道庁障がい者スポーツ所掌課に各1部を送付する。印刷費は6万円(1,200円×50部)を予定する。

したがって、本事業費は、100万円の予算といたしたい。

### Ⅲ 収支予算

#### 正味財産増減予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
令和8年基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息			0
自 受取寄付金	7,330,000	7,630,000	△ 300,000
受取寄付金			0
至 令和受取寄付金振替額	7,330,000	7,630,000	△ 300,000
雑収益	0	0	0
受取利息			0
雑収益			0
経常収益計	7,330,000	7,630,000	△ 300,000
(2) 経常費用			
事業費	4,200,000	4,900,000	△ 700,000
1 スポーツ活動の普及	600,000	1,500,000	△ 900,000
支払助成金	400,000	1,200,000	△ 800,000
旅費交通費	200,000	300,000	△ 100,000
諸謝金			0
2 競技会の開催・助成	2,600,000	2,800,000	△ 200,000
支払助成金	1,700,000	1,500,000	200,000
諸謝金	400,000	800,000	△ 400,000
表彰費	20,000	50,000	△ 30,000
食糧費	300,000	250,000	50,000
印刷費	100,000	70,000	30,000
消耗品費	75,000	100,000	△ 25,000
保険料	5,000	30,000	△ 25,000
3 スポーツ活動の調査・研究	1,000,000	600,000	400,000
支払助成金	900,000	500,000	400,000
印刷費	100,000	100,000	0
管理費	3,110,000	2,710,000	400,000
役員報酬	180,000	100,000	80,000
給料手当	1,800,000	1,800,000	0
旅費交通費	400,000	200,000	200,000
委託費	200,000	200,000	0
租税公課	10,000	10,000	0
食糧費	250,000	150,000	100,000
支払手数料	220,000	200,000	20,000
通信費	20,000	30,000	△ 10,000
消耗品費	20,000	20,000	0
雑費	10,000	0	10,000
経常費用計	7,310,000	7,610,000	△ 300,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	20,000	20,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	20,000	20,000	0
法人税、住民税及び事業税	20,000	20,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,016,016	1,016,016	0
一般正味財産期末残高	1,016,016	1,016,016	0
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息			0
受取寄付金	7,330,000	7,630,000	△ 300,000
受取寄付金	7,330,000	7,630,000	△ 300,000
一般正味財産への振替額	△ 7,330,000	△ 7,630,000	300,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>			
	51,016,016	51,016,016	0

